

## 第1回「オーガニックライフスタイル EXPO」開催

# “クレイ”と“コットン”に注目

オーガニックフォーラムジャパンは11月18、19日の2日間、東京国際フォーラムで「第1回 Organic Forum JAPAN～オーガニックライフスタイルEXPO 2016」を開催した。これは、

食料品、エシカル・オーガニックコスメ、繊維製品から生活雑貨まで、「衣・食・住」の生活全体を対象にした展示会。出展社は食料品関連が62社(+農業者16人)と最も多く、2番目がコスメで31社、3番目がライフスタイル関連(繊維を含む)28社で、その他のジャンルを含めて計144社が出展した。

同展示会が目指すのは、真に持続可能なオーガニックカルチャーと市場の普及を推進すること。特に農業にスポットを当て、有機農業の要である「種」に注目したテーマゾーンなどを設けた。食料品関連が中心ということもありローソン、らでいっしょほーやなどの企業が特別協賛している。

また、こうした展示会にはBtoBのものが多く、同展示会にはBtoBtoC。業界関



1.「エートレヴ」のブースではクレイ製品の他に、「にがり」を用いた入浴剤なども展示 2.オーガニックコットンを提案した「シシフィーユ」のブース 3.イベント終了時間の17時間際になってもこのにぎわい 4.“食”がテーマの一つになっているため、有機栽培の種を販売するブースなども見られた 5.ローソンやイオントップパリュなど、食品・流通の大手企業が出展したことも特徴の一つだ



点が特徴だ。「オーガニックの普及には一般消費者の認知拡大が不可欠。一般消費者も集客できるイベントにしたいと考え、オーガニックのクッキングや生活に根差したオーガニックのトークショーなど、誰もが楽しめるコンテンツを多数用意した」と、オーガニックフォーラムジャパンの秋元一宏・代表理事。その狙いは当たり、事前入場登録者の約2/3が一般消費者で、製品の販売なども盛況だった。

コスメ関連で注目を集めていたのは、“クレイ”関連のアイテム。「Ellefu.(エートレヴ)」が提案した、フランス産のホワイトカオリンをベースとしたクレイは、純度100%であること、パックや入浴剤とし

場者に囲まれていた。養命研究所は、ローズウォーターとホワイトカオリンを配合した「スカイローション」を用いた「クレイ美容法」を提案

し、一般消費者の注目を集めていた。一方、オーガニックコットンを用いたアイテムも人気で、複数のブースが出展。中でも「SisiFILLE(シシフィーユ)」は、肌に触れる部分に100%オーガニックコットンを使用した生理用ナプキンをプレゼンテーション。一般消費者の間でもデリケートゾーンのケアが見直される中、来場者の注目を集めていた。

もらった仕器が、雰囲気があっておしゃれ。どのブースもブースデザインに注力していて、会場の雰囲気がとても良かった」と賞賛の声があがる一方で、「来場者に業界関係者と一般消費者が混在していたので、接客が難しかった。日にちによって来場者を分けたほうがやりやすいかも」という声もあった。課題もあるが、一時は入場規制も検討されるほど来場者が多かったため、次